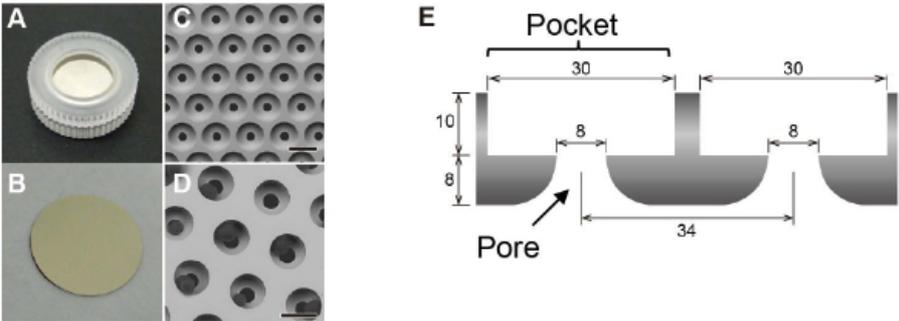
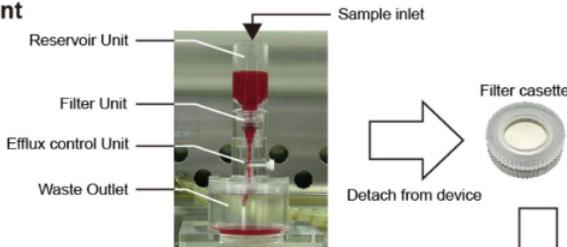
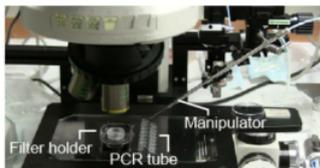
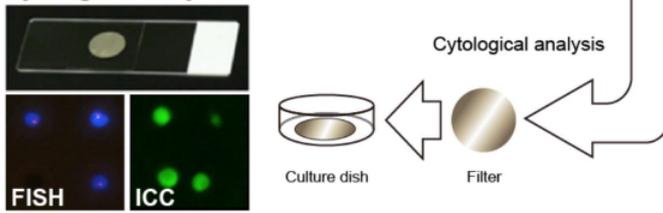


重点研究プロジェクト知財公開情報提供【個表】

<p>発明の名称</p>	<p>末梢循環腫瘍細胞 (CTC) 又は希少細胞分離用デバイス、及び末梢循環腫瘍細胞又は希少細胞分離方法</p>
<p>登録（出願）日 登録（出願）番号</p>	<p>平成 25 年 8 月 2 日 特願 2013-153717</p>
<p>要約</p>	<p>末梢循環腫瘍細胞又は希少細胞分離用デバイスは、体液中の末梢循環腫瘍細胞又は希少細胞を捕捉することができる窪みと、該窪みに形成され末梢循環腫瘍細胞又は希少細胞以外の体液細胞を通過させることができる孔を有する金属フィルターを備える。</p>
<p>特徴／セールスポイント</p>	<p>CTC又は他の希少細胞の迅速、高率な回収を達成し、さらに簡便なCTCの回収、診断を可能にする。金属フィルター材質は、CTC、希少細胞などの細胞に対する毒性が非常に低い。金属フィルターを用いたCTC分離デバイスは、そのまま顕微鏡観察することができる。またCTCを濃縮後、CTC(細胞)をマニピュレーターやその他の方法で回収し、細胞診や免疫染色などの種々の染色ができ、Liquid biopsy としての利用も可能である。</p>
<p>主な応用分野</p>	<p>末梢循環腫瘍細胞 (CTC) 又は他の希少細胞を分離する金属フィルター。 「他の希少細胞」とは、がん患者の腹水、腹腔洗浄液、リンパ液、髄液などの体液に含まれる希少な腫瘍細胞（「希少がん細胞」）をいう。 一般病院などの医療機関や大学医学部などの研究機関、教育機関。</p>
<p>開発状況</p>	<p>20～30 例規模の肺がん、乳がん患者検体を用いた臨床研究により見いだされた課題に対して種々の改良を行い、実地臨床でもほぼ使用可能な実用試作機を完成させた。現在、多施設共同の中規模の臨床研究を開始しており、臨床データを蓄積中である。その後、先進医療に申請し、PMDA 認可をめざす。この間に、事業化に向け企業と交渉をすすめる。</p>
<p>参考する写真等</p>	 <p>The figure consists of five panels labeled A through E. Panels A and B are photographs of the device and a circular filter, respectively. Panels C and D are micrographs showing the surface of the filter with a grid of circular pores. Panel E is a schematic diagram of the filter's cross-section, showing a central 'Pocket' and 'Pore' structures. The diagram includes the following dimensions: the width of the pocket is 30, the width of the pore is 8, the height of the pore is 8, and the total width of the filter is 34. The height of the filter is 10.</p>

	<p><b>A Enrichment</b></p>  <p><b>B Detection of CTC</b></p>  <p><b>C Isolation of single cell and genetic analysis</b></p>  <p><b>D Cytological analysis of fixed cells</b></p> 
<p>権利（出願）機関</p>	<p>愛知県がんセンター  (株)オプトニクス精密  科学技術交流財団  名古屋大学</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>&lt;成果活用プラザ事務局&gt;  P3 あいち産業科学技術総合センター企画連携部  &lt;主な権利（出願）機関担当者&gt;  機 関 名：愛知県がんセンター  部 署：運用部経営戦略室  担当者名：段家 貢司  電 話：052-762-6111（内線：2511）</p>